



愈よ明日から貯蓄 報強調週間

各方面に設置される貯金組合 市役所初め會社銀行にも

縣下を挙げて大運動を行ふ明項を實施することになつたが廿一日から一週間の貯蓄報強調週間に對し平市では昨十日午後一時から第三小學校講堂に區長、各種団体代表、官衙學校職員等百余名を會して實施事項につき協議したが國費八十億の財源を大半國債に當められる財源政策に對し一同非常な緊張を以て左記事

隣家に巢食ふ泥土工

田植の不在から二百余圓

石城郡上小川村の上小川字家南町料理店に於て遊興費消し路一〇居住神奈川縣生れ附近粘土山に働く土工柴田初男三二は昨十九日隣家の鈴木徳行方に於て田植に出た不在に忍び單筒在中の現金二百餘圓を窃取し之れを發見した被害者方の届出により平署が現場檢分と同時に犯人探検中である同日夕平市活動常設平館に映畫を見てゐる前記初男の舉動が不審を以て檢査取調べたところ右の犯罪を自白し盗んだ現金は三十餘圓を使つたのみで殘金全部を所持してゐたが尚昨年六月月中旬村立屋某店頭に忍び現金十餘圓入へて本年正月月中旬同地赤野宇吉妻が入浴に脱いで置いた衣類から二十六圓を窃取せる余罪も自白したが盗んだ現金は悉く平市

拳銃獻納

二十個の

平署管下に於ける左記諸氏は事變下にある軍部の用に充てられる様にと内郷村馬目太平治氏の少ゾローニング外一挺を初めとし拳銃廿個を獻納した

▲内郷村馬目太平治二個
▲四家又一 佐藤三平 萩勘男
▲加藤とき 杉山朝光
▲日野はな 瀧澤鶴松 高萩佐重
▲粟谷詩作 ▲湯本町井坂千代松 赤坂榮助 若松幸藏
▲小松順一 ▲神谷村管渡兵庫 菅波高寧 ▲永戸村

國有種牡馬種付

産駒検査

石城郡産馬組合に派遣された國有種牡馬種付産駒の検査は今六月末から七月にかけて行はれる筈であつたが左記の如く繰上施行に決した

田人種馬所六月三十日を六月二十七日に▲上遠野種馬所七月一日を六月二十八日に▲澤渡種馬所七月二日を六月二十九日に(以上)

磐陽野球場々況

磐陽野球場主催の磐陽野球大會の第二日昨十九日は磐中球場で舉行、平俱樂部對鐵道は七對四で鐵道勝、入山と磐陽は八對二で入山勝、これで第二回戦全部終了したが来る二十一日平南、平鐵、入山、古河の準決勝戦に入る筈

日刊報日曜日五時
日刊報月曜日五時
日刊報火曜日五時
日刊報水曜日五時
日刊報木曜日五時
日刊報金曜日五時
日刊報土曜日五時
日刊報日曜日五時
日刊報月曜日五時
日刊報火曜日五時
日刊報水曜日五時
日刊報木曜日五時
日刊報金曜日五時
日刊報土曜日五時
日刊報日曜日五時

大麥の燒麥は 軍部納入不扱

石城郡農政局では燒麥禁止を將助してゐるが收獲期に臨み更に注意をなすつゝあるところへ軍部側から軍需供用の大麥は馬糧に充てる關係上燒麥は納入品として取扱はざる旨回牒された尚本年の大麥は昨年の作付千八百九十五町二百歩(収量二千三百十八噸)より四千四百四十五反歩を増す二千九百七反の作付で作柄は普通である

慰問袋は戦友と共に

平市南町出身 鈴木武雄
拜啓、晩春の候と相成り日増に暖く、其の後皆々様方には事變以來今日到るまで良く銃後の御護り下され且また御丁寧なる慰問文慰問の品々御送り下され有難く厚く御禮申上候、早速戦友一同と分けて喜びを共にしました、宜しく御傳へ下さり度候、當戦場も皇軍の向ふ所全く敵なく今また四十萬からなる全主力を以て固めた徐州を五月十九日午前九時十五分をもつて陥落の後も間一髪を入れず敵を南西、南東方面に猛進撃致居り候、我が部隊も津浦線に沿つて南下を續け目下徐州を距る約百キロの一路落に宿營致し後方部隊として任務に奮闘致居り候、長期抗戦も愈々上段に入り候が暴支野蠻、東洋平和の爲め敢然起る皇軍には一とたまりもなく全く風前の燈火同様の運命と存じ候、我

戦地の便

飛行場側に鯉職

(2) 平市下川原出身 木村正行
三日程前には半年振りで雨が降りましたが農家に取つて随分よおしめりだつたのでせう、お陰でこの飛行場もホコリが立たず助かります、誰が立てたか飛行場の側に鯉のほりが日本男子の意氣そのもの、様に北支大空をバツクに悠々と泳いで居り支那の子供達が何かかざりながら珍らし相に見上げてゐるのも和やかな風景です、内地に帰還部隊が有ると聞えて居ますが北支方面の航空隊は益々活潑な活動をして居ります、戦はまだ長期になるものと存じ益々緊張致して居りますれば今後ともどうぞ御聲援下さる様御願申上げます、先づは御禮券々近況お報らせまで、皆々様によるしく御傳ひ下さる様御願申上ます

慰問袋は戦友と共に

平市南町出身 鈴木武雄
拜啓、晩春の候と相成り日増に暖く、其の後皆々様方には事變以來今日到るまで良く銃後の御護り下され且また御丁寧なる慰問文慰問の品々御送り下され有難く厚く御禮申上候、早速戦友一同と分けて喜びを共にしました、宜しく御傳へ下さり度候、當戦場も皇軍の向ふ所全く敵なく今また四十萬からなる全主力を以て固めた徐州を五月十九日午前九時十五分をもつて陥落の後も間一髪を入れず敵を南西、南東方面に猛進撃致居り候、我が部隊も津浦線に沿つて南下を續け目下徐州を距る約百キロの一路落に宿營致し後方部隊として任務に奮闘致居り候、長期抗戦も愈々上段に入り候が暴支野蠻、東洋平和の爲め敢然起る皇軍には一とたまりもなく全く風前の燈火同様の運命と存じ候、我

大麥俵量改正

十四貫目詰に

石城穀物共同受檢組合の大麥は米の空俵を利用し隣縣茨城の容量に倣へ十五貫詰とされありませう、我が國貯蓄機關の大宗であり又國民貯蓄機關とも云ふべき郵便貯蓄事業を整理して居ります郵便貯蓄に於きましても夙に政府の方針に基き國家の目的遂行に協力致して居るのであります、國民貯蓄精神の動員貯蓄報強調週間の開始せらるゝ機会に一層郵便貯蓄の便益を計るため新に局所外預入制度並に集金制度を開始する見込であります、

國民貯蓄獎勵

仙台逕信局
今後政府に於て發行せられます大なる國債の消化を圓満ならしめんと共に軍費及軍需生産資金の調達を圓滑にし且つ國內に散布せられます巨額の政府支拂金に依る通貨の膨脹を防止するため政府に於ては特に貯蓄の徹底を要望して居ることは御承知の通りで

金成中尉昇叙

今事變の上海附近の戦闘に於て名譽の戦死をなせる平市研町出身金成中尉中尉は今回(十二年十月十八日付)從七位に昇叙された

神谷託兒所開設

石城郡神谷村では今十八日から一週間左記六ヶ所に農繁期託兒所を開設した
▲大字上片寄 下片寄 上神谷 壺田の各寺院
▲小名濱商港の修築を完成した内務省では工事器具その他一切を縣に引渡すことになつたがこれが引継ぎのため去る十六日平土木監督所から田中所長出張高橋内務局外敷名立會備品、器具機械を當分の関係

器具機械引繼

小名濱商港の修築を完成した内務省では工事器具その他一切を縣に引渡すことになつたがこれが引継ぎのため去る十六日平土木監督所から田中所長出張高橋内務局外敷名立會備品、器具機械を當分の関係

偽首詐欺 十三名捕はる

残るもの二名
石城郡勿來町出倉炭礦坑夫十五名が北海道明治炭業社員を欺き轉山の約束で出立金その他を多し金三百圓を騙取した一は平署の嚴重なる捜査を潜り各所に逃げのびてゐたが去る十八日まで九名捕はられ其の移引續いて
保科末吉(四)村上軍治(三)遠藤仁(三)西間水徳(二)四名が何れも勿來町の炭礦に潜伏してゐるところを檢査されて残るものは鈴木正夫(三)渡邊竹義の二名のみとなつたが鈴木は郷里栃木縣那須郡馬頭方面に高飛したらしく向は騙取した前記三百圓は主謀者長倉の手で七十餘圓を残り二百餘圓は偽首を知つて顔を買した者へ五圓位づつ手へた外逃走に焦つた自動車賃等に費してゐると

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

局所外貯金とは工場、會社その他多數の預金者を擁する向に吏員を出張させて預入の取扱をするもので貯金団体は此の制度を利用しては應々郵便貯蓄貯蓄金持運び手数がなくなるのであります、

農業方面

遅れた挿秧は 密植多苗

これにて減量を取返す

田植、麥刈、養蠶と農家は本格的な繁忙期だ、特に牛馬人力など努力不足に悩む際ではあるが、早稲作であつて見れば生産力確保が後述に課された重大任務であり、其れだけ農家は繁忙な経営をどうするか、大きな問題となつてゐる。

水田作業に於ける努力節約については農林省が既に其大綱を地方に指示したが各縣の對策を上げると、

群馬縣下の如きは牛馬の飼育が山間地方に多いのに鑑み此地方に農耕牛馬班を組織し水田の多い平野地方に送り込み畜力の補助を行ひ、埼玉縣の努力奉仕班を更に細別し壯年部、青年部、婦人部とし壯年部は農務努力と軍需品の供出、青年部は共同作業、物質の配給、婦人部は家事労働農務輕労働を夫々擔當一糸亂れない統制をとつてゐる。

而して特に水田移植期に對策として農林省が奨励してゐるのは第一に挿秧期間を適當に延長し且つ水利の統制をよくし農務期作業の努力を緩和するほか、

▲共同灌漑、共同田植、病虫害の同防除、肥料の同配給、麥作等の共同收穫、調製作業の共同化 ▲用水路の浚渫を早くし其完壁を期すると共に農務努力の緩和を圖る ▲優良農具の共同利用 ▲農務期の共同炊事及託兒所開設、婦人努力の節約

を圖るなどの方策を立て、る此の實例としては、埼玉縣では田植は事情の許す限り早稲を有利とするが努力分配が圓滑に行かぬとすれば田植期間を十日間なり廿日間なり延長する此場合、普通晩植は早植より量の減するは當然豫期されるが普通坪當六十株三本植標準の所でも七十株八十株植とし更に一株の苗数を五、六本とする様に密植多苗にし肥料も運動性のもを避け速効性のもを與へる様にすれば或程度まで収量減を免かれるとしてゐる(元)

正確な体温計
なる寒暖計(種各)
計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊藥局

牛も豚も優良品の自慢

平市田町 三三屋 肉の御用命は

◆一級印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

産科 婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

平市新川町九一
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

夏の帽子 麥一文字子供帽

パラソル 二重張と晴雨兼用傘

ツルヤ 平電一四〇

便利で 經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正ですから 何をお任せしてもご安心です

平市田町十八(西村屋横町)
日下家政婦會
會長 日下すい子
電話七二三番

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大町 電話五九二番

大河内 平市搔搔小路
整形科醫院
電話五八八番

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし 皆様の御用向へ身元確かなる婦人を 派出致します。

平市南町 平看護婦會
電話三〇七

經濟的な御便 宜御用命を 願ひ致します

御手不足の御家庭 軽い御病人の付添 妊婦産婦の御家庭

根本 婦産科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番

(入院隨時)

平病院 (平市元共濟病院跡)
電話六四一(番)
院長 醫學博士 鈴木定藏

内兒科 院長 鈴木定藏
副院長 佐藤幾要司
皮膚泌尿科 院長 高橋俊幸
物理療法科 部長 鈴木元雄
藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科

晝夜 北川外科
診察

(血液検査毎日)
イツデモ 入院デキマス

平市新川町二七(電話六四)
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保

國民精神總動員
日本國民必見の書……

内閣情報部發行
寫真週報
1部10.セン
お取次致して居ります

西村屋藥局 電話三二

高久病院
平市田町 電話五一三番
院長 醫學士 高久忠

内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院
院長 醫學士 高久忠